

退 公 連

い わ き

第 68 号

福島県退職公務員連盟  
いわき支部

発行日 令和5年7月3日  
発行者 草 野 義 教  
発行所 石森二丁目6-1  
(電) 22-9881  
印刷所 八幡印刷株式会社

令和5年度  
支部総会

四年ぶりの

対面開催

支部総会は、4月26日に市労働福祉会館において開催された。あいにくの小雨の中、出席者は少なかつたが、久しぶりに顔を合わせることができた。

はじめに令和4年度に逝去された39名の会員に対して黙祷を捧げた。挨拶に立った草野義教支部長は、コロナ禍によりこの3年間予定された事がほとんどできず、ほぼ休止の状態であったと悔しさに触れ、以前のような活動に戻したいと力強く話された。

米寿41名、退任委員1名への記念品贈呈は、従来は総会において直接あるいは方部役員の方を通してお渡ししていたが、今回から郵送の形となり、該当者の紹介となった。続いて、中根孝雄氏を議長に選出

して議事に入り、会務・決算報告の後、事業計画案・予算案の審議がなされた。事業計画では、事務局長及

支部長再任を受けて

コロナ禍で、これまで退公連は活動を休止してきましたが、今年度からは、状況をみながら正常化していく方針です。

前号でお知らせしましたように、年金生活者を取り巻く状況は、公務員の定年が2年ごとに65歳まで引き上げられます。入会勧誘は退職者の状況に応じて行うようになります。会員の減少傾向は、「社会保障制度の維持向上を国に働きかける組

び組織部、年金部、女性部、福祉部、広報部の各部長より基本方針、活動計画、年間行事が発表された。ウィズコロナ下での活動では、特に、感染防止に努めつつ知恵を絞り、会員皆様の協力のもとに諸事業を推進していくことが確認された。

今年度は役員改選があり、草野義教支部長、比佐恒子監査、鈴木貴一監査が選出された。最後に支部長より役員・方部委員を委嘱した。議事はスムーズに進行し短時間で総会を閉じた。(事務局長 団野 勝一)



織」としての退公連にとって危機的状況をもたらしております。

紙上で、「会員にとってメリットとなることを仕組み、魅力ある組織に衣替えをしたい。納得の人生を生きるために、地域の高齢者が最後まで頼れる組織として、まずは介護から着手したい」としています。

いわき支部においても、会員にとって魅力ある活動に取り組んでいきたいと思えます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(支部長 草野 義教)

令和5年度いわき支部組織表

顧問	高木 清	組織部長	増井 啓三
同	鈴木 雅之	副部長	酒井 功
支部長	草野 義教	部 員	・ ・ ・
副支部長	猪狩 良彦	年金部長	古川洋一郎
同	阿部 秀政	副部長	勝倉 孝行
同	佐久間静子	部 員	高木 典子
事務局長	団野 勝一	女性部長	伊藤 弘子
幹 事	増井 啓三	副部長	比佐 恒子
同	中根 孝雄	部 員	佐久間静子
同会計	伊藤 弘子	福祉部長	中根 孝雄
同会計兼	団野 勝一	副部長	小林 延子
監 事	比佐 恒子	部 員	片寄 善勝
同	鈴木 貴一	広報部長	鶴沼美枝子
		副部長	鈴木 貴一
		部 員	大澤 範子

支部の主なあゆみ(令和5年度前半)

4・18	県評議員会 支部長 事務局長 (郡山市)
4・26	いわき支部総会(労働福祉会館) 第1回理事會 (福島市)
5・15	支部長 支部連絡會議 (郡山市)
5・22	支部長 事務局長 組織部長 女性部長
5・29	支部会報編集委員會 1回目 2、3回目は6月
5・29	支部役員・部員合同會 (中央公民館)
7・3	支部会報68号発行
8月中旬	国会議員への要望活動 (福島市)
8・18	第2回理事會 支部長

この度の役員改選により副支部長を仰せつかりました。室井会長、大橋事務局長とは県職員として一緒に仕事をした関係もあり、平成28年に入会しました。当連盟の目的でもある「退職公務員の豊かで活力のある生活を維持する」ためには、支部が企画する事業に多くの会員の皆様が参加し、コミュニケーションを図ることが大切です。微力ではありますが、支部活動がより充実するよう取り組んでいきたいと思えます。



福島県退職公務員連盟いわき支部 令和4年度会計決算書

収 入 金	2,652,363 円
支 出 金	2,000,778 円
差 引 残 高	651,585 円 次年度に繰越

◎収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	本年度予算額	増減 (△)	摘 要
1 会 費	1,846,965	1,898,500	△ 51,535	会 費 1,388,000円 ( 694名) 振替手数料 36,465円 ( 663件) 賛 助 会 費 422,500円 (1,323名)
2 繰 越 金	758,843	758,843	0	
3 雑収入金	46,555	25,000	21,555	預 金 利 息 8円 販 売 手 数 料 46,547円
計	2,652,363	2,682,343	△ 29,980	

◎支出の部

項 目	決 算 額	本年度予算額	増減 (△)	摘 要 (▲中止等で減額)
1 事 務 費	134,134	210,000	△ 75,866	事務用品、印刷代 ▲総会、会議中止
2 通 信 費	188,075	230,000	△ 41,925	送料 郵便料
3 会 議 費	7,397	210,000	△ 202,603	▲会議中止 ▲県大会中止・バス代
4 交 付 金	115,520	150,000	△ 34,480	会費の10%方部へ交付
5 渉 外 費	1,198	40,000	△ 38,802	渉外関係 ▲旅行、研修会中止
6 旅 費	97,000	150,000	△ 53,000	出張旅費 ▲会議中止
7 図 書 費	276,060	330,000	△ 53,940	新聞代 支部会報 図書
8 慶 弔 費	154,049	190,000	△ 35,951	会員慶弔 米寿記念品
9 部 会 費	7,120	35,000	△ 27,880	各部活動費 ▲慰問、研修会中止
10 手 当	100,000	100,000	0	事務手当
11 負 担 金	920,225	1,030,000	△ 109,775	県連負担金1,000円732名 傷害保険 振替手数料663件 地震・水害被災 義援金 ネットバンキング基本手数料
12 予 備 費	0	7,343	△ 7,343	
計	2,000,778	2,682,343	△ 681,565	

令和5年4月26日  
上記の通り報告いたします。

福島県退職公務員連盟いわき支部  
支部長 草 野 義 教 ㊟

令和5年3月29日  
監査の結果正確かつ適正であることを認めます。

監事 比 佐 恒 子 ㊟  
監事 鈴 木 貴 一 ㊟

# 各部活動計画



## 組織部

部長 増井 啓三

本年度も例年と同様、4月から8月まで退職者・未加入者への勧誘強化月間、令和6年1月から3月まで退職予定者への勧誘強化月間とし、役員を中心に全会員で、電話・文書、許されれば訪問等で勧誘する。

勧誘にあたって、「再任用」という口実に臆することなく、会員になることが、退職者をはじめ今後退職する現役公務員の生活を守る「組織の力」となり、身近な事として実感することを強調したい。

今年度は新たに、65歳を迎えた未加入退職者の方々に、加入勧誘の資料を届け、昨年度より一人でも多くの加入者を得たい。

## 年金部

部長 古川洋一郎

年金部では、会員の唯一の収入源である年金の仕組みや運用方法について、日頃の疑問を解消することを目指して、講演会を企画した。

1、日時 令和5年11月15日(水) 13時30分～15時30分

2、場所 中央台公民館(いわき准看護学校・アルコ会館隣 駐車場 完備) 予定

3、講師 日本年金機構平年金事務

所より派遣。当日は質疑応答の時間もあるので、多数の参加を。

## 福祉部

部長 中根 孝雄

1、コロナ禍で孤立していた会員相互のふれ合いの場を取り戻すために、女性部と共同で企画し、「親睦の集い」を実施する。

2、会員一人一人の要望を取り入れ活動を強化し、未加入者の勧誘を促進する。

3、社会参加や社会貢献活動は、コロナ禍を考慮し、関係団体や地域連携を図りながら推進していく。

## 女性部

部長 伊藤 弘子

1、コロナ禍で止まっていた会員同士のふれあいを少しでも、とり戻すために「親睦の集い」を福祉部と合同で企画し、実施する。

2、「親睦の集い」の実施により、退公連への理解を深め、未加入者への勧誘、入会を促進する。

3、社会参加や社会貢献としての活動は、関係団体や地域との連携を図りながら進めたい。

# 健やかに生きる

—趣味・生きがいをもとめて—

会員の皆様の生き生きと活動・活躍している情報に接することほどうれしいことではない。今号では、そんな方々の中から、紹介したい。「勿来八景フォトコンテスト」というのを耳にした方は多いと思う。勿来の関文学館などで、作品をご覧になった方も多いのではないかとと思う。13回を数えるという。そのフリーの部で、生方八重子さんの作品が特選に輝いた。大きな大きな拍手を贈りたい。カメラ

は、生方さんの趣味の一つのこと。このことや短歌での受賞も含めて、生方さん自身が、思いを綴ってくれた。

四沢方部 生方八重子

私の趣味5つのうち、2つが賞に入りました。

勿来八景のフリーの部で特選に入り、賞状と図書券を頂きました。

その作品は、桜の季節です。お茶会の着物姿で30人位の方が吹風殿の入口より桜を見ながら私の前を通り階段の方へ上がっていったのです。

その内3名の方が、しだれ桜が美しいので戻って写真を撮り始めました。私は、お天気良く桜も着物姿も美しく感じ、土壌から天空へ見上げ

写真をパチリパチリと撮りました。その写真が特選でした。美しいしだれ桜と着物姿に評価が入ったのかと感じてます。運が良かったと思つてます。

勿来ひとまち会議で、勿来の関を見て歩いて感じたことを(短歌)にして歴史館の中の本の箱に投函すると一年に一度、表彰式がある。20年も前から投函してる人から聞いて、初めて入れたのが入選でした。

吹風殿で表彰を受け皆さんと写真を撮りました。特に詩歌の道を短歌にすることが良いと思いました。とにかく全て運でした。来年に向けて頑張るつもりです。

先日、文学館を訪れた際に、生方さんの短歌の作品を目にすることができた。勿来ひとまち未来会議会長賞を受賞した作品である。書き写してきたので、紹介したい。

秋晴れに枯れ葉集める老夫婦の姿を見つつ小径を登る

\*できる限り、情報を集めようと、アンテナを張り巡らし努力はしているが、なかなか思うようにいかない。毎回方部委員の方に情報の提供をお願いしているのもそのせいである。今回の生方さんの情報は、方部委員の小林延子さんからの提供であった。ありがたく思う。他方部でもきつとあるはず。提供いただければ幸いである。

随 想

飯野1方部 野地みゆき

このひとときから

庭のバラが、5月の連休頃から咲き始めた。嬉しくも早過ぎる、と思

ながら、雑草も急いで抜かなくては、と思う。花盛りになる前に。毎年、このささやかな手作りの庭

に訪れる友人たちがいる。バラの香りに包まれて、お茶を飲みながら、心ゆくまでおしゃべりを楽しむ。ゆつくりとバラと対面できる。この時間が愛おしい。

絵

ノスタルジア

(F50 アクリル)

郷ヶ丘2A方部 三戸香代子



短 歌

御厩方部 菅原和歌

新緑の楓は微風煽ぎつつ紅葉の秋にゆるり構える  
窓越しの春日温きに背押され詠みままならぬ脳の活きづく  
勿忘草身につけおれば憂き消ゆとう身につけようか事多き世相

と購入してくれた植物たち。バラの剪定、誘引など数え上げればきりが

ない。これもいただいた野イバラはあつという間に、翼のように伸びやかに腕を広げた。  
花柄摘みも終わり、緑一色となった。ほっと一息。と思う間もなく、薬剤を施さないと、とカレンダーに目をやる。  
あ、明日は陶芸教室の日だ。庭と陶芸が交錯する。ろくろが生み出す

今から70年以上も前の子どもの頃、狭いながらも我家の庭では、父手造りの小屋に、犬、にわとり、うさぎ、小鳥等を飼っておりました。妹達と庭に放して、よく遊んだものです。その庭先での一コマを描いてみました。縁側には、見守る若い母と祖母の笑顔の姿がありました。  
今は、生家は消えましたが、楽しかったなつかしい思い出は、消えることはありません。

事務局だより

ふれあい旅行、慰問活動は、コロナ禍への対応で中止とし、ビバ！親睦の集いを10月に開催します。詳細は8月にお知らせします。  
今年度会費の口座振替を6月19日に実施しました。

俳 句

上片寄 高橋 彦士

修羅いくつ踏ん張り生きる麦の秋  
あらがへぬ鈴と知りて夏の風邪  
饒舌の箸にかからぬところてん  
更衣脱がれて美しき女下駄  
弥陀池の底まで知るや梅雨の鯉

謹んで

哀悼の意を表します

令和5年1月6日

- |       |       |
|-------|-------|
| 斎藤 公郎 | 秋山 久子 |
| 安城 ツヤ | 田久 民子 |
| 佐野 寛  | 阿部 孝男 |
| 山森 正弘 | 大和田成元 |
| 橋谷田利美 | 石井 次夫 |
| 小宮 薫  | 田仲 功  |
| 岡部つる子 | 大友 誠三 |

編 集 後 記

ほとんどの花の開花が早くなり、「えっ」と驚かされ、季節感がはぐらかされることも多い。  
6月末から7月はじめにかけて、熱中症患者が多いという。身体が暑さに慣れないからだという。近頃は、気候変動の話題で盛り上がることも多い。それだけ関心が高いということだろうが、まだまだ暑さが続く。何とか、知恵と工夫で乗り切りたい。会員の皆様、ご自愛を。

